

第3次プランの基本方針

食育の重要性を親から子などの次世代につなげ、食育の取組を循環させていくためには、「次世代を担う子どもやその保護者」、「若い世代」への推進が特に重要です。第3次プランでは、市民みんなが自ら食育に取り組む目標像を目指しながら、学校や家庭などを中心に、健康や農業、環境の視点を活かした食育を重点的に推進します。

第3次プランの目標像と施策体系

目標像：市民みんなが食へ感謝し、健全な食生活を実践するまち

3つの視点

基本視点1

若い世代が主体的に取り組み次世代へつなげる

若い世代が「食」に関する知識や「食」を選択する力を習得し、個々が主体的に健全な食生活を実践する力を養うとともに、次世代につなげ食育の取組を循環させていきます。

基本視点2

協働の取組を広げる

市や関係機関・団体、市民が連携・協働することで食育を推進します。また、単独世帯やひとり親世帯、貧困状況にある子どもなど、多様な暮らしを認識し、推進を図ります。

基本視点3

久留米市の特性を活かす

農業都市、医療機関や教育機関、商工業の集積などの本市の特性を活かした食育を推進します。また、ふるさとの恵みや郷土料理などの食文化を守り、継承します。

4つの柱(基本施策)

基本施策Ⅰ

生きる力を育む食育

子どもが健やかに成長し、生涯にわたって健康に生きる力を育むために、正しい知識と望ましい食習慣を身につける食育を推進します。

基本施策Ⅱ

健全な食生活を推進する食育

食に関する意識を高め、知識を深め、心身の健康を増進する健全な食生活を実践することができるよう推進します。

基本施策Ⅲ

農業・農産物への理解を促進する食育

農業体験学習や地産地消の推進を通じて、農業や農業・農村の多面的機能への理解促進と久留米産農産物への愛着の醸成に努めます。

基本施策Ⅳ

環境との調和を図る食育

自然環境に配慮した食生活を実践し、食品ロスの抑制やごみの減量、再利用の普及・啓発により食育の推進を図ります。

共通施策 食育への理解と関心を高める

市民全体を対象に、イベントの開催や広報誌等を使った情報発信などを行い、食育への理解と関心を高めます。

